

○ I Hにおける当面の取組みについて (令和2年度)

スタートアップを取り巻くビジネス環境の変化

- ・営業機会の減少、顧客へのアクセスが困難
- ・売上の減少、資金調達の困難化
- ・DX（デジタル・トランスフォーメーション）、AI、非接触技術など一部の分野では新たなビジネスチャンスが到来
※(令和2年6月上旬に会員スタートアップへアンケートを実施)

OIHでの取組み方針

➤ 運営手法の見直し

- ・ オンラインによるイベント・メンタリングなどを強化
- ・ 不特定多数のターゲットに対しては、オンラインを中心に発信、個別のスタートアップや具体的な案件などについては、オフラインによるきめ細かで確度の高いマッチング支援、面談等を実施。
- ・ オンラインによるイベント開催のノウハウ蓄積など、第二波に備えた環境を構築。

➤ 環境の変化に応じた事業内容

(1) 情報発信の強化

- ・ 営業機会や露出機会の減少を補うため、話題性のあるピッチイベントを開催
- ・ 各種メディアに対する積極的なアプローチにより露出機会の増加を支援

(2) 経営の持続化・安定化を支援

- ・ 経済状況の悪化を乗り越えるため、メンタリング機能や外部の専門家を交えた個別サポートを強化。

(3) グローバル展開支援

- ・ スタートアップ単体での海外展開が困難になる中、海外機関と連携した支援を実施
- ・ 海外スタートアップと国内大企業の連携を通じ、オープンイノベーション等の取組みを促進。

環境の変化に応じた事業内容 (新規)

(1) 情報発信の強化

- | | |
|--|--|
| ① コロナに負けるな！
スタートアップ限定！
取材先公開募集プロジェクト | ・マスコミの取材ニーズを汲み取り、コロナ対策に取り組むスタートアップを紹介
(テーマ:アフターコロナ社会をリードする「最新のテクノロジー・サービス」) |
|--|--|

(2) 経営の持続化・安定化を支援

- | | |
|----------------------------------|--|
| ① OIHメンタリングサービス | ・ビジネスプランのブラッシュアップに向けたメンタリング機会をオンラインで提供 |
| ② クラウドファンディング
サポート | ・資金調達が困難になった利用者向けに、クラウドファンディングの活用をサポート |
| ③ 「スタートアップで働く人
(仮)」Webコンテンツ配信 | ・人材確保が困難になった利用者向けに、「スタートアップで働く意義」等、スタートアップで働く人の「生の声」を紹介するWEBコンテンツを配信 |

(3) グローバル展開支援

- | | |
|-------------------------------|--|
| ① オンラインピッチイベントの
開催 | ・下記の海外スタートアップ支援機関と連携
(A) フィリピン「TECH SHAKE」の日系スタートアップオンラインピッチ
(B) 台湾「Startup Terrace Taiwan」との連携ピッチイベント |
| ② Next Step Asiaへの
パートナー参加 | ・German Accelerator を核とするドイツのアクセラレーションプログラム
・ドイツスタートアップと国内大手企業とのオープンイノベーション促進に取り組む。
(富士通、神戸医療産業都市参加予定) |

環境の変化に応じた事業内容（継続）

背景・目的

コロナ禍によりスタートアップ単体では海外展開が難化
オンラインを中心としたイベント等の開催により支援

グローバルイベントの開催

オンラインを中心に開催予定

【国際イノベーション会議 Hack Osaka】

日程：令和3年2～3月頃（予定）

内容：起業家によるスピーチ、海外スタートアップによるピッチコンテスト、商談会などを開催
創出したプロジェクトのプロモーション機会として開催



【Get in the Ring】

日程：令和2年12月3日（予定）

内容：大阪での開催は5回目。優勝者は令和3年2月2-4日にカナダ・モントリオールで開催される
決勝大会へ進出。



海外ワークショップ

各国の状況を踏まえてオンラインによる交流も含め、実施方法を検討

With/After コロナを踏まえた当面の取組み（OSAP）

環境の変化に応じた事業内容（継続）

【第9期／第10期プログラム】

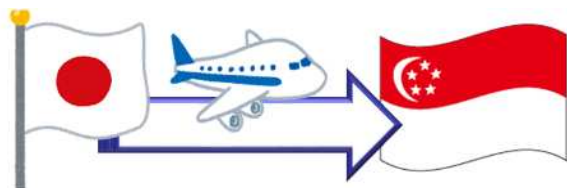
- ・新型コロナウイルス感染症対策として原則フルリモートで実施予定
- ・コロナ禍によって生じた新たな社会課題の解決に寄与するスタートアップ企業等を支援



【OSAPのAlumni／海外展開支援プログラム】

- ・渡航制限等の影響もあり、オンラインでの対応を検討中
- ・複数国におけるピッチ&ネットワーキングの機会を創出

<R元年度>



<R2年度>



With/After コロナを踏まえた当面の取組み（産学官連携）

テックミーティング、大阪市イノベーション創出支援補助金

基本方針

大学の持つ研究技術シーズを基に、

- ・起業家や学生のマインド醸成、ビジネスプランの深化をめざす
- ・産学連携の研究開発にかかる費用の一部を補助し、実用化に向けた取組を推進

具体的な取組み

【テックミーティング】

「大阪市立大学・
大阪府立大学
ニューテックフェア2020」

など開催予定



【大阪市イノベーション創出支援補助金】

(令和2年度予算13,000千円)

第1回（2月募集）：3件採択

交付決定額 4,699千円

第2回（4月募集）：4件採択

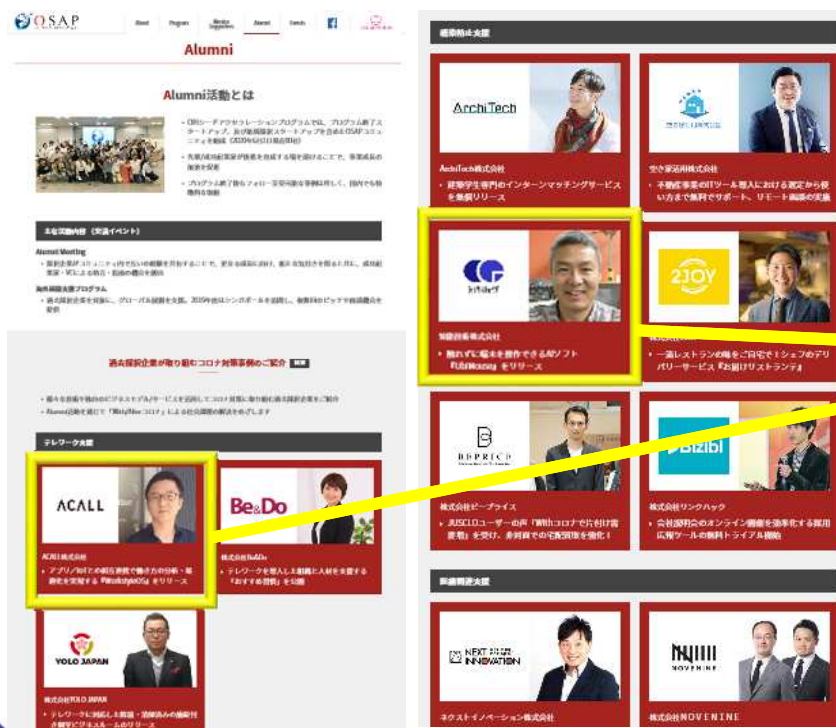
交付決定額 6,786千円

With/After コロナを踏まえた当面の取組み（事例紹介）

事業連携により、コミュニティ形成効果の最大化をはかる

情報発信力の強化（Web上に新規ページ開設）

コミュニティ活動の一環として
OSAP過去採択企業が取り組む
コロナ対策事例を一覧化してご紹介



マスメディア への接続（スタートアップへのトスアップ）

OIHがマスコミの取材ニーズを汲み取り、
コロナ対策に取り組むスタートアップを紹介

【申込状況】

TV	3局
新聞	2社
Webメディア	1社

×

スタートアップ 71社



有機的連携の促進（共同実証実験の開始）

ACALL

窓口案内アプリ
「ACALL FRONT」



CHINOUGIJUTSU

接触感染防止AIソフト
「UbiMouse」

実証実験を経て、非接触対応可能な窓口案内アプリ
として「新しい生活様式」への適応に貢献（詳細は[こちら](#)）